

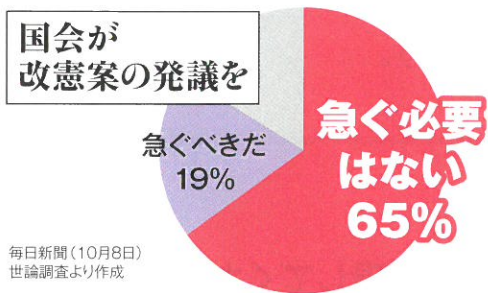
「改憲」いらなく くらしを守ろう

「3年間の自民党総裁任期中に改憲にチャレンジしたい」と安倍首相は9条改憲に前のめりです。

憲法は、国民主権や基本的人権、平和、何よりも「個人の尊厳」を国に守らせる法です。政府が国民の権利を奪わないように、政府の手を縛るものです。それなのに、総理大臣が期限を切って自分の思い通りに「憲法を変える」と発言するなど、憲法違反です。9条を守り、憲法が実現される政治に変えましょう。



世論は改憲発議 NO!



毎日新聞(10月8日)
世論調査より作成

国民は改憲を望んでいません

「改憲の発議を急ぐべきか」という質問に、「急ぐ必要はない」が65%と、「急ぐべき」19%を大きく上回っています(「毎日」10/8付)。

また、どの世論調査をみても、国民が政治に求めているものは、第一に「社会保障(年金・医療)」、第二に「経済対策(景気対策)」です。国民は「改憲」など望んでいません。

「軍事費を削って社会保障に回せ」「防衛予算よりも防災予算を」命とくらしを守る、憲法を生かした政治の実現こそが求められています。

9条に「自衛隊」を明記すれば 「9条壊憲」=「戦争する国」へまっしぐら

米軍と一体に「海外で戦争する自衛隊」をめざして、敵地攻撃型の高額アメリカ兵器を次々と購入する政府。防衛予算は過去最高です。

9条に「自衛隊」を明記すれば、9条が死文化されます。「自衛隊員を戦場に送り、海外で武力行使する国」になってよいのでしょうか。

増え続ける軍事費 (兆円)



資料：財務省資料、一般会計ベース
(復興特会計上分は除く)

3000万人署名で 改憲STOP! 平和へGO!

「戦争はイヤ」「安心して、いい仕事をしたい。だから憲法!」みんなの願いを集める「3000万人署名」が世論を広げ、野党共闘を後押しして安倍「9条改憲」の暴走にブレーキをかけています。「3000万人署名」を積み上げ、改憲発議をとめましょう。

**朝鮮半島では平和・非核化への動き
9条を生かした平和外交を**

南北首脳会談・米朝首脳会談が重ねられ、対話と外交によって朝鮮半島の非核化と平和に向けた歴史的変化が進んでいます。軍事対軍事、「圧力一辺倒」の政策では緊張を高めただけに、憲法9条の価値があらためて示されています。

「北朝鮮の脅威」がなくなりつつあるのに、「9条改憲」に固執し、軍備増強に暴走する安倍政権は、世界の流れから孤立してしまいます。9条を生かした外交こそ求められます。



〒113-8462
東京都文京区湯島2-4-4
TEL (03) 5842-5611
FAX (03) 5842-5620
<http://www.zenroren.gr.jp>